報道発表

令和５年８月18日
名古屋税関
中部空港税関支署

令和５年７月分　中部空港　貿易概況（速報）の要旨

令和５年７月分について、輸出は「科学光学機器」、「電気計測機器」などが増加したものの、「半導体等電子部品」、「ポンプ及び遠心分離機」、「重電機器」などが減少したことから対前年同月比8.1%の減少となった。　また、輸入は「医薬品」、「非金属鉱物製品」などが減少したものの、「有機化合物」、「半導体等電子部品」、「原動機」などが増加したことから、同 5.9%の増加となった。
その結果、差引額は２１５億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,075億円	▲8.1%	860億円	＋5.9%	215億円	▲39.8%
	7ヵ月連続の減少		2ヵ月連続の増加			

			概況品名	金額	伸率				概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	（１）	科学光学機器	42億円	＋12.6%	輸入	増加品目	（１）	有機化合物	62億円	17倍
		（２）	電気計測機器	81億円	＋4.3%			（２）	半導体等電子部品	128億円	＋17.8%
		（３）	家庭用電気機器	26億円	＋13.2%			（３）	原動機	161億円	＋13.6%
	減少品目	（１）	半導体等電子部品	156億円	▲32.7%		減少品目	（１）	医薬品	47億円	▲22.4%
		（２）	ポンプ及び遠心分離機	9億円	▲62.4%			（２）	非金属鉱物製品	6億円	▲55.0%
		（３）	重電機器	33億円	▲11.7%			（３）	半導体等製造装置	7億円	▲44.2%
	主要地域増減		アジアが減少、EU、アメリカは増加				主要地域増減		アメリカが増加、アジア、EUは減少		

（参考）ドルレートは、１４２．３２円（前年同月比４．６%、６．２７円の円安）であった。
（注）　月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。